

宿泊外国人比率 78%のホテルが、日本の美で訪日外国人をおもてなし

## ART colours Vol.16 「青春」展

2016年3月14日（月）～5月29日（日）

パークホテル東京（東京都港区・汐留メディアタワー内）は、訪日外国人のお客様に「日本の美」をお楽しみいただけるよう、日本の四季をテーマとした展示会「ART colours(アートカラース)」を年4回行っておりますが、その第16弾として、2016年3月14日（月）から5月29日（日）まで、「青春」展を開催いたします。

パークホテル東京は、羽田・成田国際空港からのアクセスの良さと、25F フロントデスクから東京の代表的なシンボルである「東京タワー」と日本のイメージの代名詞である「富士山」を一望できるという絶好のロケーションにより、宿泊者の外国人比率が高く、2015年の外国人の宿泊比率が78%を超える状況で推移しています。今後も更なる訪日外国人の増加に伴い、宿泊者の外国人比率の上昇を見込んでいます。訪日外国人のお客様に、パークホテル東京ならではの「日本の美意識」を楽しんでいただけるよう館内各所でアートを意識した空間づくりを進めておりますが、中でも、客室の壁をキャンパスのようにして直接画を描いた「アーティストルーム」（※注）が大変ご好評をいただいております。

そのアートプロジェクトの一環として開催される今回の「青春」展では、パークホテル東京の「日本の美意識が感じられる時空間」というコンセプトのもと、25Fのラウンジ全体を使用して、第一線で活躍中の日本の現代作家たちと、江戸期の若者の風俗を捉えた肉筆浮世絵を交え、時代やジャンルを超えて、作家それぞれが捉えた青春の発露と言うべき作品が館内各所に展示されます。会場では吹き抜け天井から注ぐ春の陽を感じてのアトリウムの散策、作品をご覧いただきながらデザートセットやお茶などもお召し上がりいただける他、夜には期間限定の作品とコラボしたオリジナルカクテルをご用意し、高さ30mの壁面には展示作品をモチーフとしたプロジェクション・マッピング映像が映し出されます。

パークホテル東京では、訪日外国人の皆様へ、日本の文化を少しでもご理解いただき、楽しんでいただきたいとの思いを込め、今後も宿泊客の皆様へ様々な日本の美をご紹介します。



「青春」展キービジュアル 森口裕二「昔町迷宮」



パークホテル東京 25階フロントからの眺め

### 注：アーティストルーム

「相撲」、「禅」、「桜」といった様々な「日本の美意識」をテーマに、客室そのものをキャンバスとして、直接壁に絵を描いた客室。2016年中に31Fフロアの客室31室すべてをアーティストルームにするべく、2/15現在、18室の客室と喫煙スペースが完成、2室を制作中。春以降も続々着手いたします。完成した部屋から随時販売中。アーティストルームシングル 35,000円～（税・サ込）

特設サイト <http://www.parkhoteltokyo.com/artcolours/aih.html>

## ■ART colours Vol.16「青春」展 概要 ■

【期間】2016年3月14日（月）から 5月29日（日）無休

11：30～22：00 ※プロジェクションマッピングは暗くなってから臨時イベントにより会場内入場の時間制限などを設ける場合も有。

【会場】パークホテル東京 25F アートラウンジ 【料金】入場無料

【出品作家】森口裕二、見崎彰広、山本温、古茂田杏子、小飯塚祐八、永吉友紀、金親 敦、河本蓮大朗、肉筆浮世絵

【協力】羽黒洞、不忍画廊、Katsumi Yamato Gallery、フヤマアート

【総合プロデュース】creative unit moon (<http://www.moood.jp>)

【映像制作】antymark annex

## ■展示会をテーマとしたお料理等 ■ ※料金はすべて消費税・サービス料（10%）含む金額です

### <アートラウンジ> デザートでアート

デザート：「春香女タルト」

提供期間：3月14日（月）～5月29日（日）

価格：

喫茶時間 14時30分～17時 1,800円 コーヒー付き

ディナータイム 17時30分～22時 1,200円 単品



### <タテル ヨシノ ビズ> 料理長/吉野建

料理名：「ホワイトアスパラガス ムースリーヌソース オレンジの香り」

提供期間：3月14日（月）～4月30日（土）

価格：ムニユ ド セゾン（10,000円のコース）の前菜としてご提供



### <花山椒> 料理長/関口元道

タイトル：「抹茶羊羹と季節の練り切り菓子」

提供期間：3月14日（月）～4月30日（土）（要予約）

価格：1,663円



### <バー ソサエティ> カクテルデザイナー/鈴木隆行

カクテル：「桜人」

提供期間：3月14日（月）～5月29日（日）

価格：1,600円



## ■ 作家略歴 ■

### ◆森口裕二 (Yuji Moriguchi/もりぐち ゆうじ)

1971年徳島県生まれ。94年 京都精華大学美術学部デザイン学科マンガ専攻(現・マンガ学部)卒業。漫画と浮世絵の特質を併せ持つような、精緻な線で描かれた独特の叙情性とエロティシズムを持った女性像は、ノスタルジックな世界観と共に強烈な存在感を放つ。近年はアジアを中心に海外のアートフェアにも出品、国内外を問わず高い評価を得ている。



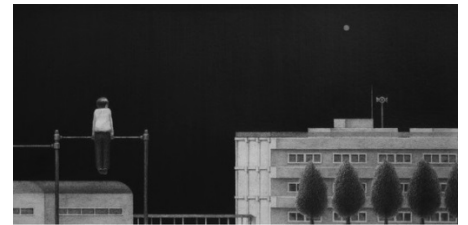
「檸檬」

### ◆見崎彰広 (Akihiro Misaki/みさき あきひろ)

1987年東京生まれ。東京芸術大学美術学部日本画専攻卒。

2013,14 ボローニャ国際絵本原画展《入選》。2015CWAJ 現代版画展 60周年記念大賞展《審査員特別賞》。

ドローイング、リトグラフの他、絵と言葉による「本」も制作発表している。



「校庭」

### ◆山本温 (On Yamamoto/やまもと おん)

1983年東京生まれ。創形美術学校版画科卒。

旅の風景など温かみある木版画で制作。イラストレーターとしても活躍。

BASE GALLERY、HB Gallery、papier colle 等でグループショー、個展開催。



「京都 清水の春」

### ◆古茂田杏子 (Kyoko Komoda/こもだ きょうこ)

1946年東京生まれ。洋画家の両親の影響で絵を描き始める。銅版画・肉筆画の技法を用いて制作される作品には、古い時代を背景にした人の情が描かれている。銅版画の会「四角い空」講師。人人会会員。



「青春」

### ◆小飯塚祐八 (Yuya Koiizuka/こいづか ゆうや)

1975年福岡県生まれ。多摩美術大学版画専攻卒。高知国際版画トリエンナーレ展《佳作賞》受賞、札幌国際版画ビエンナーレ展《スポンサー賞》受賞、プリント21 グランプリ展《スポンサー賞》受賞、日本版画協会展《佳作賞》受賞。ありふれた日常に着目し、登場する人・動物・風景など、すべて身近なところから引用し、登場させる。ここ最近では家族も増え、ますますバラエティ豊かな作品を制作している。



「星になった歌を見つめて」

◆永吉友紀 (Yuki Nagayoshi/ながよし ゆき)

1971 年神奈川県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修了、日本版画協会会員。  
「永吉友紀 selection“ニホンノ女学生”」、国際グラフィックアーツトリエンナーレ・ソフィア'95 第2位(ブルガリア)、上海アートフェア出品。女子美術大学資料館、町田市立国際版画美術館に収蔵



「水浅葱」

◆金親 敦 (Atsushi Kaneoya/かねおや あつし)

1989 年千葉県市原市生まれ、横浜美術大学工芸領域クラフトデザインコース卒。  
「第1回アサクサコレクション」、「TOKYO DESIGNERS WEEK」、Can★Do 手作りニットコンテスト《審査員特別賞》他。日々の暮らしで感じた事を編物を通して表現する編物造形作家。



「hair ornament」

◆河本 蓮大朗 (Rentaro Kawamoto/かわもと れんたろう)

1991 年神奈川県生まれ。横浜美術大学テキスタイルデザインコース卒。  
「TOKYO DESIGNERS WEEK」、「国際野外美術展トロールの森」他  
日本の文化としての染織をみつめ、その新しい可能性を模索した作品を制作する手織の染織作家。



「檸檬」

◆肉筆浮世絵 (ukiyo-e painting/にくひつうきよえ)

浮世絵は長い乱世が終わって世の中が平和に向かっていった江戸時代に生まれた日本の代表的な絵画。美人画、風景画、役者絵など、その時代の文化や風俗を見ることが出来る歴史的な資料でもある。黒い部分は墨を使用し、色は胡粉や岩絵具を用いて描かれている。江戸中期の若者たちが生き生きと描かれている作品（寛政年間1789~1801）を展示。



「男女乱舞之図」

---

<本件に関するお問い合わせ>

パークホテル東京 マーケティング部 広報：宮崎、早乙女

Email : y.miyazaki@parkhoteltokyo.com 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー

TEL:03-6252-1111(代) FAX : 03-6252-1001

---